

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4076100108
法人名	有限会社 グループホームほほえみⅡ
事業所名	有限会社 グループホームほほえみⅡ
所在地	福岡県飯塚市勢田173-3 (電話) 09496-2-4623

評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成20年1月30日	評価確定日	平成20年2月29日

【情報提供票より】 (平成19年11月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 17年 3月 10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 2人, 非常勤 7人,	常勤換算 9人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	40,000 円	
敷金	有(円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要 (平成19年11月13日現在)

利用者人数	8 名	男性	3 名	女性	5 名
要介護1	5 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 87 歳	最低	69 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東小倉クリニック
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、住宅地で道路に面した場所にあるが、騒音もなく落ち着いた生活が送れる環境にある。かつて商業施設であった建物を改造し作られており、ゆったりとした空間が確保され、公園も隣接している。精神科医療に精通した代表者により職員の介護の質の向上を目指し、日常の介護の場面で丁寧な指導が行われている。また、提携病院との連携を図り、往診だけでなく、看護師による定期的な状態把握を通じて、日常の健康管理に力を入れ、安心して健康に生活できるよう取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題について、理念の掲示場所を工夫したり、玄関周りにプリンターを置く計画を立てたり、申し送りノートを作成する等、具体的な改善に取り組んでいるが、改善方法や経緯が不明瞭である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者中心で取り組み、確認された課題について全職員で話し合っている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議を定期的開催し、利用者の日々の暮らしぶりや外部評価の結果報告等、事業所の状況報告をしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	意見箱を設置している。職員は家族来訪時に意見、要望等を聴くよう声かけに努めている。状態変化時の連絡について個別の連絡方法を取り決める等、家族等の意見を運営に反映させている。また、家族等へ事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口を紹介している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	職員と利用者は共に地域の草取り等に参加し、小学生や中学生の訪問等がある。また、実習やボランティアを受入れ、地元の人々と交流することに努めている。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念があり、尊厳を尊重し、地域において家庭的な雰囲気の中での生活を目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の会議で介護の質の向上に向けた具体的な話し合いを行い、理念に基づき、本人の視点に立って可能な限り希望の生活が送れるよう、個別具体的なケアを検討している。また、毎月の勉強会において、個別の心のケアについて具体的に話し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	職員と利用者は共に地域の草取り等に参加し、小学生や中学生の訪問等がある。また、実習やボランティアを受入れ、地元の人々と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者中心で取り組み、確認された課題について全職員で話し合っている。前回評価での改善課題について、理念の掲示場所を工夫したり、玄関周りにプランターを置く計画を立てたり、申し送りノートを作成する等、具体的な改善に取り組んでいるが、改善方法や経緯が不明瞭である。	○	外部評価の改善課題を書面化して、全職員で一つひとつの改善方法や経緯について具体的に意見交換し、協働しながら改善して、改善シートとして保存してほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行い、利用者の日々の暮らしぶりや外部評価の結果報告等、事業所の状況報告をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	情報交換は行っているが、積極的な働きかけは十分とはいえない。	○	事業所の現状を報告する機会をつくる等、行政とともにサービスの質の向上に取り組んでほしい。
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人代表者は、制度について熟知している。利用者・家族等への説明は特に行っていない。	○	制度に関する研修の機会を持ち、利用者や家族への情報提供ができるようパンフレット等を整備し、全職員の制度への理解を深めてほしい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族来訪時に状態報告を行い、3ヶ月に1回程度(不定期に)暮らしぶりを手紙で報告したり、月1回または緊急時に電話報告をしている。行事の写真等は事業所内に掲示したり、アルバムを作成している。金銭管理については、月1回、金銭出納簿を明示し、家族等の署名・押印がある。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置している。職員は家族来訪時に意見、要望等を聴くよう声かけに努めている。状態変化時の連絡について個別の連絡方法を取り決める等、家族等の意見を運営に反映させている。また、家族等へ事業所以外の苦情に関する第三者相談窓口を紹介している。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は必要最小限に抑え、離職を防ぐために勤務時間の調整や働きやすい環境を作るよう努力している。退職者からの引継ぎは管理者が中心になって行い、全職員でフォローし、交代によるダメージを防ぐ配慮をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集・採用にあたっては、性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。定年は設けず、本人のやる気に応じて継続雇用できるようにしている。研修は全職員が交代で受講できるように配慮している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、利用者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>法人代表者は外部研修に参加している。</p>	○	<p>内部または外部研修への参加の機会を設けて、全職員の人権教育を実施してほしい。また、研修記録を残し、資料等は職員がいつでも確認出来るように事業所で保管してほしい。</p>
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の資料等を保管している。また、毎月の会議の際に勉強会を実施している。</p>	○	<p>外部研修を受講した後は、他の職員へ伝達研修を実施してほしい。また、内外研修実施後は、研修記録及び資料等を職員がいつでも確認できるように事業所で保管してほしい。</p>
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入している。運営者や管理者は、地域の事業所と交流を図り、情報交換を行って、相談しあう関係を築いている。職員は同一法人のグループホームに出かけ、交流を図っている。</p>	○	<p>運営者や管理者のみでなく、職員も地域の他事業所と交流する機会を持ち、サービスの質を向上させていく取り組みをしてほしい。</p>
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に事業所の見学や体験入居、面接を行い、家族と相談しながら家族の来訪回数を状況に応じて調整する等、本人が場の雰囲気に徐々に馴染めるよう工夫している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に家庭菜園で野菜作りを行ったり、利用者から肩もみをして労ってもらうことがある等、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、支えあう関係を築いている。		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の活動や食事の献立等、日常的に利用者一人ひとりの希望等の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、利用者・家族の思いや意向及び全職員の気づきを取り入れて作成している。家族の署名がある。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月に1回、また利用者の状態変化や状況に応じて、介護計画を見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携病院からの往診や定期的な看護師の派遣を受け、日常的な健康管理を行い、受診や入院の回避に努めている。利用者が入院した場合は、状況に応じて見舞いを行いながら、家族、医療機関、本人と協議を行い、早期退院に向けて取り組んでいる。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、かかりつけ医での受診を支援している。また、月に2回、事業所の契約医の往診があり、その他看護師が定期的に来訪している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方について方針がある。入居時に本人・家族に説明し、利用者の意向を大切にしながら、家族・かかりつけ医と話し合いを行って合意を図り、全員で方針を共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないように、言葉かけや対応に配慮している。日々の関わり方について管理者が点検し、勉強会等で職員の意識向上を図っている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、利用者一人ひとりの体調に配慮し、日中の活動や外出、家事や野菜作り等、希望にそって支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備や片付けをしている。職員は利用者と同じ食事を摂っているが、一緒には食べていない。	○	利用者と職員が共に暮らす視点から、同じテーブルで同じ物を食べ、一緒に味わいながら食事をしてほしい。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	大まかな入浴時間の設定はあるが、利用者の希望等にあわせて、柔軟に対応して入浴を楽しめるよう支援している。入浴拒否の人については、臨機応変に一人ひとりのタイミングや意向、希望に応じた入浴ができるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴や興味等を活かし、食事の味付けや片付け、掃除、家庭菜園等、役割や楽しみごとを支援し、利用者の得意なことや経験を活かせるよう取り組んでいる。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気や利用者の体調や希望に応じて、ほぼ毎日の散歩、週1回の買い物やドライブ、年に数回の外食等、戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関を施錠していない。職員は利用者の外出傾向等を把握しており、チャイムやセンサーに頼らず、見守りや付き添いを行っている。近所の人にも理解を求め、事業所へ連絡をしてもらえる関係を築いている。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルを作成している。	○	今後はいざという時のために、最低年2回、消防署の協力及び地域住民の参加や協力を得ながら、避難訓練等を実施してほしい。また、非常用食料や備品を準備してほしい。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量の記録が全利用者分ある。献立は利用者の嗜好を考慮し、職員が作成している。</p>	○	<p>最低年1回は、栄養士等による専門的アドバイスやチェックを受け、利用者の健康管理に努めてほしい。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間に花や雛人形を飾り、畳スペースを設ける等し、家庭的雰囲気配慮している。不快と感じる音や光はない。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は、使い慣れた家具、身の回りの小物、仏壇等を持ち込み、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

※ は、重点項目。